

日本大学工学部土木工学科 正員 堀井雅史

### 1. はじめに

本研究は、道路の快適性とは何かを探るために住民に対するアンケート調査を行って、その評価構造を明らかにし、快適な道路空間が求められるであろう今後の道路整備のあり方についてその方向性を模索するものである。

### 2. 調査および分析方法

本研究に関する調査は東北地方全県を対象として行われたものであり、本報告ではその中でも福島県に関する分析結果を示す。調査対象地区は郡山市とし、日交通量が①2車線合計1万台未満の県道仁井田郡山線沿いの荒井地区、②2車線合計1万台以上の国道49号沿いの桑野地区、③4車線合計2万台以上の国道4号沿いの栄町・本町地区の3箇所とし、有効サンプル数が100以上を目標としてアンケート調査を行った。この結果をもとに満足度の算出および数量化II類によって、道路の快適性に関する住民の評価構造の構築を試みた。なおアンケート内容は、居住地域内の道路に関する評価、都心部での自動車運転時の道路に対する評価と歩行者側からの評価から構成されている。調査は平成元年11月10日～12月4日に実施し、訪問留置法によった。

### 3. 分析結果

調査対象地区ごとの居住地域内の道路に対する満足・不満足の割合を示したのが図-1である。これによると道路環境に関しては、交通量が多い栄町・本町地区が全項目において不満の割合が高く、その他の地区はそれほどでもないが、道路上のゴミに対しては不満の割合が高い。道路の歩き易さに対する評価については、横断歩道の間隔、歩行者用信号の数、放置自転車以外の項目について不満の割合が50%を超えており、つまり、これらの地区においては歩道の整備状況があまり良くないといえる。次に道路景観に関しては、栄町・本町地区を除いて不満の割合が低く、道路標識の数や色や形に対する不満はあまりないようである。しかし、違法駐車や駐輪に関しては全地区において不満の割合が高い。同様に都心部の道路を自動車運転時から見た場合では、信号表示、道路標識、路面表示を除いては不満の割合が高く、全体的にあまり評価が良くない。また都心部道路の評価においては、居住地域内の道路の満足度評価と同様の傾向を示しているが、放置自転車に関しては都心部での不満の割合が増加している。

次に、以上までのアンケート結果に対して、数量

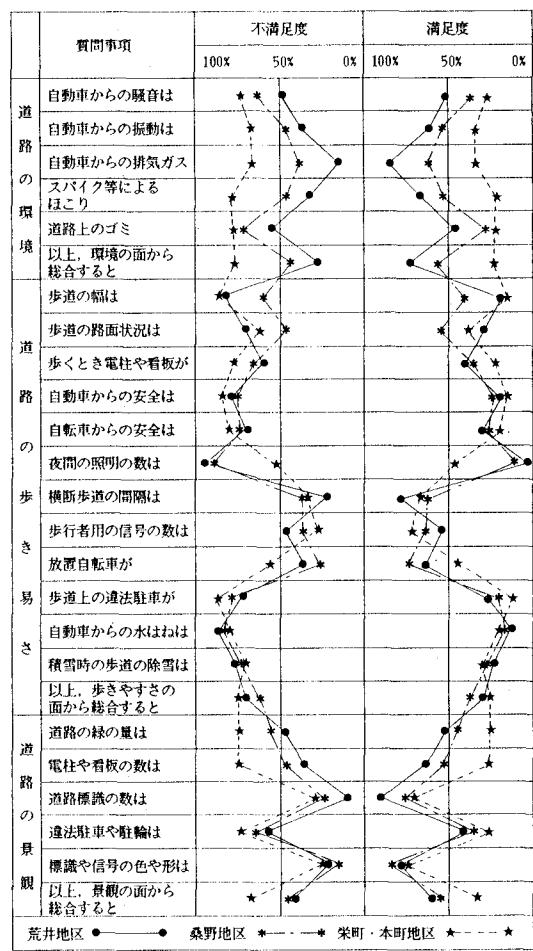


図-1 居住地域内の道路に対する住民評価

化II類を適用して、道路の快適性に対する住民の評価構造について分析を行った。図-2は居住地域内の道路の快適性に関する分析結果を示す。ここで図中の数値は各分析の中で最大のレンジを示す項目を1.0とした場合の比率を示しており、その分析項目の中での相対的な重要度を示している。また各分析の相関比は0.46から0.65と比較的高い値を示しており、ある程度の説明力を有していると考えられる。この図より、居住地域内の道路の快適性について最も影響が大きいと考えられるのは道路の景観であり、次いで道路の環境、道路の歩き易さの順になっている。各評価項目に着目すると、道路の景観においては、違法駐車や駐輪、電柱や看板の数などが重要と評価している。道路の環境については、自動車からの騒音、道路上のゴミが、道路の歩き易さでは、歩道の幅、積雪時の歩道の除雪、歩道の路面状態が重要である。この評価構造と住民の満足度の関係を比較すると改善しなければならない項目が抽出できる。図-2に関して満足度と比較すると各評価項目で上位に位置付けられるものはいずれも不満の割合が高く、改善すべき項目であるといえる。また、これらの重み度を掛け合わせることによって全評価項目の相対的重要性が算出できるとすれば、これと満足度あるいは不満足の割合とを比較することによって、これらの地区における道路の快適性向上させるために早急に取り組まなければならない課題を見いだすことができる。図-3は、この重要度と不満足度との関係を示したものであり、これにより、各評価項目の位置付けが把握できる。これによると、居住地域内の道路の快適性向上させるためには、違法駐車や駐輪、電柱や看板の数、自動車からの騒音、道路の緑の量、道路上のゴミなどを早急に改善しなければならないことがわかった。

なお、本研究では図に示した項目で道路の快適性を表現しているが、その他の項目についても検討する必要があり、今後の課題である。また、本研究で得られた意識量と物理的指標との関係についても今後追求していくことが重要である。最後に、アンケートにご協力頂いた方々に感謝の意を表します。

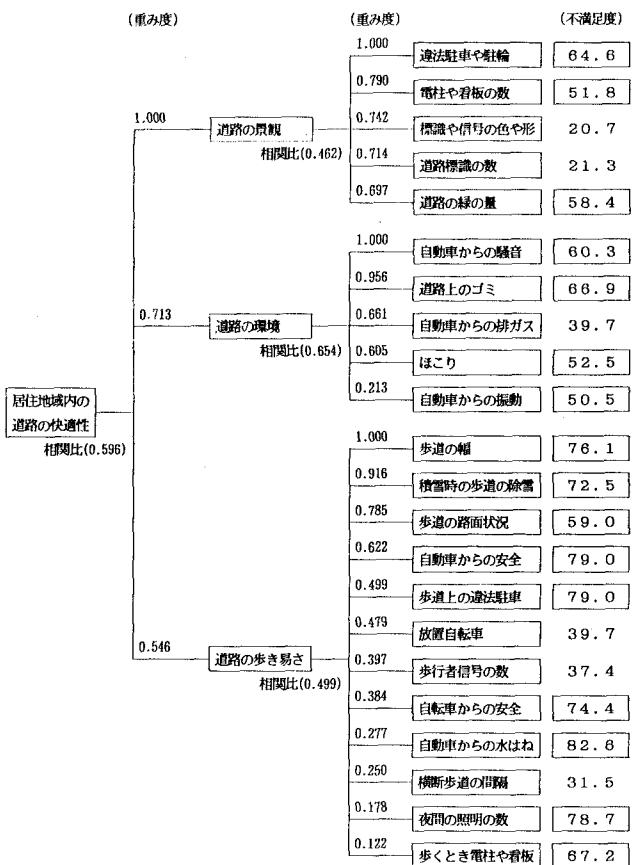


図-2 居住地域内の道路の快適性に対する評価構造

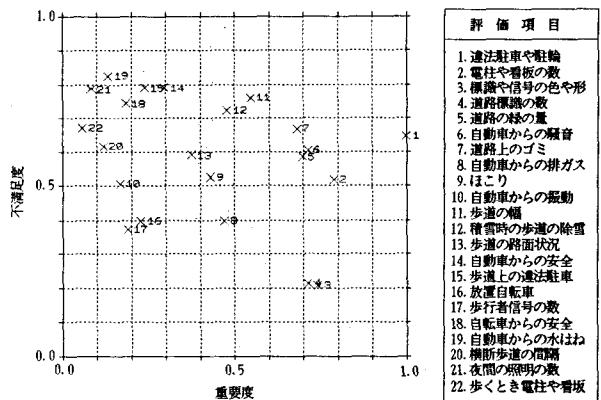


図-3 居住地域内道路の快適性評価項目の重要度と不満足度との関係